

新石垣空港活性化協議会の設置趣旨等について

新石垣空港の概要

- ・2013年3月に供用開始(設置管理者:沖縄県)、滑走路2,000メートル、運用時間8:00~21:00
 - ・令和元年度乗降者数2,572,121人(国内線2,477,678人、国際線94,443人)
 - ・令和元年度貨物取扱量17,251トン(国内17,251トン、国際0トン)
- ※乗降者数、貨物取扱量ともに空港管理状況調書(国土交通省)より
- ・八重山圏域の経済発展、観光振興のための重要な(人流・物流の)交通基盤・交流拠点となっている。

新石垣空港における主な課題

- ①国内線ターミナルビル狭隘化の解消
- ②国際線の復便及び新規就航
- ③2次交通との結節強化
- ④竹富町、与那国町等周辺離島へのアクセスに係る連携強化(主に観光客への周遊促進)
- ⑤物流機能の強化・活用促進、等

課題に関連する行政施策

- ・交通部門
- ・経済部門
- ・観光部門
- ・空港部門

県各部、関係市町、関連事業者など、所管(関係)機関は多岐にわたる。

協議会の設置趣旨・目的

- ・課題等に関連する関係機関において、課題や取り組みの「共有」と解決に向けた取り組み、方向性に関する「意見交換」等を行うための、場として設置
- ・各構成機関においては、協議会で出た課題や解決策等に関する意見を踏まえ、適宜各部門の施策に生かすことで課題解決を図っていくことを主な目的とする。

イメージ図

新石垣空港活性化協議会
【構成機関による課題解決等に向けた意見交換等】

各構成機関
【課題解決等に向けた施策の検討・実施等】

関連事業者(エアライン、交通事業者等)
【適宜の情報提供・意見聴取等】